

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成23年3月20日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4691300018
法人名	社会福祉法人 百合砂
事業所名	グループホーム はまんだ
所在地	鹿児島県西之表市西之表6602番地1 (電話) 0997-23-3992
自己評価作成日	平成23年10月8日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://kaken-shakyo.jp/kohyo
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センターかごしま 福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	平成23年3月4日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

ゆったりとした環境の中で入居者の皆様が望んでおられる生活を支援しながら、ホームの一員としてできることを探して頂き、少しの可能性の中から何かを見出し、新たな喜びを感じて頂けるよう無理なくサポートしています。又行事参加、ドライブ、外食、買い物など地域の中で開放的な生活を支援する事でとても良い気分転換ができていますように思います。入居者の方から「今日は天気よかる、どけーもいかんと」等と催促も聞かれます。又誕生日会には大正琴同好会や、踊りの会(さくら会)、近くの幼稚園児等地域の方々には訪問して頂き交流を図りながら楽しく過して頂いています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

ホームの造りは伝統様式を活かした建物で、馴染みやすく落ち着いた雰囲気の中で生活できるようになっている。

職員と入居者の信頼関係も厚く、皆が一つの家族となったような一体感のあるホームである。

地域との交流も活発で、幼稚園の行事に招待されるなど、地域との結びつきも強くなってきている。

職員の向上心があり、同じ法人の施設間での研修会や勉強会にも積極的に取り組んでいる。特に利用者の重度化や終末期に向けた取り組みなど、また看取りについても職員意識が高く、入居者やその家族と信頼関係ができています。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	事業所独自の理念を作りホーム内の目に付く所に掲示しています。理念を共有し、理念に基づいた支援が提供できるよう取り組んでいます。	独自の理念を大切にして、自らが入居者の視点に立ち、随時見直しを行い、実践に取り組んでいる。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	できるだけ地域行事に参加し交流が出来るよう取り組んでいます。鉄砲祭、地域納涼祭、地域運動会等に参加しました。慰問の皆様との交流も昨年引き続き実施しました。	地域行事の参加に積極的に取り組んでいる。また地域内でのコミュニケーションも良く、園児との交流や地域の方が野菜を持って訪問されるなど日頃から交流ができています。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	スタッフが西之表市の認知症地域支援体制構築等推進モデル事業の委員として参加しています。また見学の受け入れを行います。認知症についての簡単なお話をさせていただいています		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月に1回運営推進会議を実施し、入居者の状況の変化、生活の状況、活動報告等を行い、それに対して意見を出していただき、サービスの質の向上に努めています。	運営推進会議の開催は定期的に行っている。各担当者からの意見が出しやすい雰囲気を作っている。幾つかの町内会が隣接しており、各地区の担当者への働きかけも広がりつつある。防災訓練に馴染みの人の参加を呼びかけるなどの意見がだされたりして活発である。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	昨年度より西之表市の方で認知症地域支援体制構築等推進事業のモデル事業に取り組んでおり、その一員としてスタッフが参加し色々な交流ができました。	日常の連携の中でホームの状況報告や入退所についての情報交換等を市の担当者で行っている。また、地域包括支援センターとの連携も継続している。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	ミーティングで、身体拘束の事例などを検討したり、身体拘束の具体的な行為について確認し、実践しています。	サービス向上委員会を設置し、身体拘束廃止についての研修や検討会を行い、職員全員のレベルアップを図っている。ネグレクト等についても対応できている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	法人内の事故・身体拘束防止委員会にて情報交換を行い、防止に努めています。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	研修会及びそれに関する資料により制度について、認識はしています。現在対象者は居られません。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>契約時に時間をかけ丁寧に説明し、内容を理解し納得していただくようにしています。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>日頃から何でも話せる関係の構築に努めています。又スタッフに話せないことはご家族等に話せるよう、面会時は配慮しています。苦情、不満が出た場合は、法人内の第三者委員会を活用するようにしています。</p>	<p>利用者や家族の意見を取り入れ、気軽に話し合い柔軟に対応している。日頃から何でも話せる関係づくりを大切にしている。第三者委員会を設置している。</p>	
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>月に1回のミーティングやサービス向上委員会、他各種委員会、又日常的にも気軽に意見、提案ができるよう配慮し、反映しています。</p>	<p>はまんだ独自の会議を活用して、職員が日常的な意見や提案をしている。また連絡帳も活用し意見が表出しやすいように取り組んでいる。イベント時などは、人的対応をして欲しいなど出された提案が活かされ反映されている。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>月に1回のミーティングやサービス向上委員会、他各種委員会、又日常的にも気軽に意見、提案ができるよう配慮し、反映しています。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>研修会等は全員が参加できるよう配慮し、勉強会も母体施設共同で定期的の実施しています。又グループホーム独自でも必要に応じて行っています。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>包括支援センター主催の研修会などへの参加を積極的に呼び掛け、交流の機会を設けています。また、研修の依頼も受け入れています。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	本人様からの聞き取りには困難な面があります。ご家族を通して聞き取る事が多いように思います。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	見学时、申し込み時、入居時と段階に応じてお聴きする機会を作り受け止め解決に向けて共に努力しています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	個々の状態に応じて時間をかけ、居宅支援事業所等との連携も図りつつ、支援を見極め他サービス利用も視野に入れて対応しています。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	出来ること、出来ないことのみきわめ、ゆったりとした環境の中で、過剰なサービスを避け、入居者のペースで出来ることはやっけて頂き、何時も同じ目線で対応する事で、支えあう関係を築けるよう努めています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	電話、面会時等に情報の共有を図り、コミュニケーションを充実する事で、信頼関係を作り、協力して頂き、支えあえる態勢づくりに努めています。家族とともに支えることがとても重要であると認識しております。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	自宅訪問、買い物、お墓参り、外食、ドライブ、行事等にでかける事で関係を維持できるよう支援しています。	電話や手紙で連絡を取ったり、地域の方たちが来訪できるように開放的な環境づくりにも配慮している。自宅訪問等は頻回に行う等、馴染みの関係づくりを支援している。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	開所から4年目、入居者同志の絆も深まり、お互いがお互いを思いやる状況があちこちで見られます。また、時々口論も見られますが、お互いの意見を尊重し、支援しています。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	入院退所後はお見舞いに出かけ、死亡時には弔問に出かけるなど、スタッフ全員で関わり、又他施設入所の場合は、非定期に面会を行い状況を確認し、お話をしています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	本人、ご家族からの聞き取りをしっかりと行い、アセスメントを充実する事で思いや意向を把握し利用者本位のケアプランに反映していくよう努めています。	日常の会話や思いを大切にしてい、入居者の言葉をそのまま活かして表現している。意向の確認が困難な方に対しても笑顔や表情を確認し本人本位で検討し支援に反映している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居時の本人様、ご家族からの聞き取り、居宅支援事業所等関係機関からの情報収集により、把握するよう努めています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	アセスメントの充実、日々の観察、日々のケア記録、モニタリングを実施してミーティングで確認しあい総合的に把握できるようにしています。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ご家族、本人、関係者の意見をお聞きし、反映して作っています。又サービス担当者会議にて、病院からの情報、介護スタッフの意見を聞き反映して作成しています。	常に現状に即した介護計画の作成をするために本人や家族の意向をふまえると共に職員の気づきを反映している。またモニタリングも毎月評価を行い、状況変化に即して見直しもしている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>日々個別に記録して共有し、実践、介護計画見直しにも反映しています。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>外出、外泊、ご家族宿泊、受診、墓参等状況に応じて多機能性を生かし、柔軟に対応しています。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>運営推進会議委員、民生委員、教育関係者、行政、消防署、商店街などの協力を頂きながら支援しています。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>多くの方が、入所前より協力医療機関をかかりつけ医とされています。本人及び家族等の希望を大切にしています。</p>	<p>利用者や家族の希望する医療機関のかかりつけ医への受診支援を行っている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>協力病院の看護師、母体施設の看護師に相談しながら健康管理に努めています。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>入院された時にはスタッフが交代で面会に伺い、入院生活に不安をもたれないよう配慮しています。早期退院については病院関係者との連絡を密にして情報交換を行い対応しています。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>入居時に終末期の意向は伺っております。又早い段階から本人、ご家族、主治医、他関係機関それぞれのお話を伺い、全員で方針を共有し対応しています。看取り指針マニュアルを作成し周知に努めました。</p>	<p>看取り指針マニュアルを作成している。実際の看取りの経験もある。また看取りについての勉強会や職員の質の向上についても積極的に取り組んでいる。家族にも周知し協力体制ができています。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>法人と協力して救命救急士の方による応急処置初期対応の勉強会を実施しています。(年2回)、又マニュアルを備え周知を図っています。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>消防署、地域公民館長さん、運営推進会議委員の皆様を通して協力をお願いしています。又年2回消防署立会いの下で、訓練を実施しております。</p>	<p>年2回、消防署の指導のもと、防火訓練を実施しており、地域の協力体制も充実している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	それぞれにあった言葉掛けを行い、個々の誇り、プライバシーを損ねる事の無い様、配慮し日々のサポートを行っていますが、開所3年を過ぎ、時々反省する事もあります。	日頃の関係から馴れ合いにならないよう配慮している。職員間で気付いた時には注意し合い、プライバシーや人格の尊重に配慮している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	個々にあった言葉掛けを行い、個々が自己決定できるよう配慮しサポートしています。自己決定が困難な場合は、状況を観察し、又ご家族の意見もお聞きしながら対応しています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	入居者中心である事をいつも念頭におき、個々の思いを大切に、健康状態を考慮しながら支援しています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	できるだけ更衣時は個々に沿って衣類を選べる状況を作り、御自分で選んで頂くようにしています。整髪は声をかけて行って頂いています。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	配膳、かたづけ等、個々の能力を生かしていただきながら入居者、スタッフ一緒に取り組んでいます。	利用者それぞれの力量に応じ、食事の下ごしらえをしたりしている。個々に応じた食事形態を考慮して調理している。また入居者が食後に歌を歌ったり、楽しい時間となるような支援を行っている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事摂取量、水分摂取量等チェックし把握しています。バランスについては献立表を参考にし偏りの無いようにしています。時々、管理栄養士に助言を頂いています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	起床時、毎食後声掛けを行ない、状態に合わせて支援しています。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄チェック表にてパターンを把握し、時間誘導する事で、気持ちよく排泄ができるようサポートさせて頂いています。便秘気味の方には水分補給（起床時等）や食材の工夫に努めています。	排泄パターンの把握を行い、オムツやトイレ誘導など個々に応じた排泄の支援を行っている。センナ茶の活用など工夫をしている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	影響については研修会等で理解し、運動、水分、食事などで改善を工夫しています。現在せん茶を勧め調整しています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	健康状態を確認し、基本的には希望にあわせてサポートさせて頂いております。	入浴時間は自由である。入浴を楽しむことができるように入浴剤を使用したり、入浴時に歌を歌ったりと個々に応じた対応がされている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	個々の生活習慣を大切にして、状況を見ながら、自室又はリビングソファにて休息されたり、休養して頂いたりして過ごさせて頂いております		
47		○服薬支援 一人ひとりを使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	処方箋ファイルを作り、スタッフがいつでも見れるようにしています。処方箋に変更があった場合は連絡帳にて周知を図っています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	入所時の調査で趣味、生活歴、職歴等を把握し日ごろのサポートに生かしています。例えば、歌がお好きな方には歌う機会を、家事が得意な方には家事の機会を作っています。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	日常的に健康状態を見ながら、買い物同行、散歩、ドライブ、外食、無人市場に出かけるように支援しています。	日常的にはゴミを一緒に運んだり、買い物や散歩など、本人の希望を把握し、天気や季節を見ながら、状況に応じて外出支援を行っている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>常時持っている事は難しい面がありますので、買い物の日を行事として計画し、個々にお財布を持っていただき買い物を楽しんでいただいています。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>電話はいつでもできるよう支援しています。手紙については写真つきの年賀状に一筆添えていただけの方には添えていただいています。</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>共用空間はゆったりと寛ぎやすい空間となっています。季節のお花を生けることで、季節感が感じられ、やすらぎの空間となっています。音や光にも配慮しています。</p>	<p>共用空間は広くのんびりとくつろげる雰囲気である。四季折々の飾り付けや花が飾っており、入居者の目につく場所に配置されている。居心地よく過ごせるよう工夫されている。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>あちこちに寛げる空間があり自由に寛いでいただいております。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>入居時に馴染みの家具を持参していただき、居心地良く生活して頂ける環境作りをしています。</p>	<p>自宅で使用していた物などを持ち込んで、自宅と違和感なく日々を過ごし、居心地の良い環境づくりがなされている。仏壇に毎日お茶やごはんをそなえる人もあるなど、その人なりの居室づくりができています。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>ホール、トイレ、浴室など手摺りを取り付け、出来るだけ自立支援のサポートが出来るよう整備しています。名札の設置や部屋入口の様子は、各部屋独自になっています。</p>		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		1 ほぼ全ての利用者の
		○	2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外に行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
		○	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ全ての家族と
		○	2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
			3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない